

四国大学における消費者教育と持続可能な地域社会構築への参画

持続可能な社会発展を支える人材育成と地域連携による「知」の創出

I 四国大学消費者教育プログラム

「大学改革ビジョン2017」にもとづき、新しい時代のニーズに応じた体系的な消費者教育

- ・「消費者市民社会」の開講
- ・消費者問題の専門家を目指す資格取得指導
- ・とくしま学生サミット等での活動発表



教育・研究

新たな社会・経済システムを提案

II 学生による地域への発信

消費者教育での学びを学生が主体的に地域へ発信

- ・地域資源を活用した町づくりへの参加
(未利用魚を使ったレシピ開発、藍を使ったスイーツ制作など)
- ・学生による地域活性化の提言に消費者教育が反映
(「エシカル商店街で町を元気にしよう」富岡町商店街)

III 消費者教育と地域貢献活動

学生と教職員が連携した積極的な地域貢献活動

- ・留学生が主体となった環境ボランティア活動
- ・学生が小学校の校外学習にエシカルガイドとして参画
- ・関西広域連合協議会で働き方改革やダイバーシティについて政策提言



IV 研究による「知」の創出

四国大学学際融合研究所の中に「SDGs・消費者政策研究会」を設立(2020年5月)

- ・徳島県のエシカル教育のためのデジタル教材作成に参加
- ・県内産業界との連携による研究活動の推進
- ・Afterコロナ時代のライフスタイルに向けた政策提言

多様で柔軟な教育プログラムの実践

- ◆エシカル消費やSDGsをテーマとした高校や地域への出張講義(2019年度 高校生受講者数2500名)
- ◆高大連携による「総合的な探求の時間」のサポート(名西高校、城北高校)

DX・SXや Society5.0への 対応力

大学の多様な「強み」の強化と活用

- ◆学部学科の特性を活かし、デジタル化に対応した新たな消費者教育の提案
- ◆留学生と日本人学生による消費者教育やSDGsの協働学習の推進

あらゆる世代が学び合う消費者教育の拠点を目指して

成年年齢引き下げに
対応した学生支援体制

海外協定大学との国際
消費者政策研究の推進

“プレ社会人”として分野
横断的な消費者教育の充実

学生と教職員が連携した
SDGs推進活動の展開

